

2012ぎふ清流国体「第67回国民体育大会」トライアスロン公開競技

ローカルルール（2012年8月29日現在：8月28日掲載データを訂正）

（競技：2012年10月7日（日）、岐阜県海津市・国営木曾三川公園トライアスロン特設コース）

[1]【基本事項】

- 1) ぎふ清流国体トライアスロン公開競技（以下「本大会」という。）は、このローカルルールに従って競技を行うこと。
- 2) 競技に関し、ローカルルールにない事項については（公社）日本トライアスロン連合競技規則（以下「JTU 競技規則」という。）に従うこと。
- 3) 本大会は交通規制されたコースにおいて競技が行われるが、道路交通法などの国内法規を遵守して競技を行うこと。
- 4) 競技内容について変更がある場合は、公式掲示板に掲示されるのでこれに従うこと。
- 5) 公式記録及びペナルティ、競技の変更については公式掲示板に掲示されたものが正式決定となる。これらに不服がある場合は JTU 競技規則の規定に従って抗議を行うことが出来る。

[2]【レースナンバー】

- 1) レースナンバーは、JTU 加盟登録の都道府県順とする。レースナンバーには都道府県名が表示される。
- 2) レースナンバーは、スイム及びバイクでは着用しなくてもよい。ナンバーシールは、ヘルメット(正面と右側)とバイクサドルの下に貼付すること。
- 3) ランでは正面にレースナンバーを付けること。レースナンバーベルトの使用をすることが出来るが、レースナンバーベルトが腰の位置より極端に下がらないよう注意しなければならない。レースナンバーベルトはしっかりしたものを使用し、緩みやすいゴムひも等は使用しないこと。
- 4) レースナンバーの加工は禁止する。

[3]【競技備品とレースウェア、ウェットスーツ、バイク、ヘルメットへのロゴ表記について】

- 1) 競技者の所属する会社並びに所属するクラブ学校名及びスポンサー名などを表記することを禁止する。
- 2) 製造者のロゴのみ表記できる。製造者とブランド名は共には表記できない。
ただしその範囲は以下とする。
 - a) レースウェア：上半身1カ所、下半身1カ所以内とし、その面積はそれぞれ面積15c㎡以内、高さ3cm以下とする。
 - b) ウェットスーツ：正面及び背面に表記できるものとし、それぞれ面積80c㎡以内とする。
上記の場所以外（腕、足の部分等）は認められない。
 - c) バイク：フレーム、ホイール、ペダル、ハンドル、など異なる複数の製造者で構成されている場合も、それぞれ2カ所のみ製造者の表記が認められる。ただし、事前検査で認められない場合もある。これら以外の表示がある場合はテープなどで隠すこと。
 - d) ヘルメット：前面1カ所に面積30c㎡以内、もしくは両サイドに20c㎡以内とする。
 - e) ランニングキャップ：20c㎡以内、高さ4cm以内とする。

*製造者ロゴ自体がデザインとなっている場合も上記範囲を超えたものは使用できない。
特にレースウェアにおいて製造者ロゴがサイドに複数表記されているものや、両太もも前面に大きく表記されているものは使用できない。
- 3) レースウェアへの所属県名の表記を推奨する。ただしその表記方法ならびに範囲等は以下とする。
 - a) 場所：前面
 - b) 字体：漢字もしくはローマ字
 - c) 大きさ：縦書・縦15cm以内×横10cm以内、横書・縦10cm以内×横15cm以下。
- 4) レースウェアへの名前（姓）の表記を許可する。ただしその表記方法ならびに範囲等は以下とする。

- a) 場所：前面ならびに背面臀部のいずれか一方。
 - b) 字体：ローマ字
 - c) 大きさ：縦 6cm×横 12～15cm
- 5) 大会前日 10月6日(土) 14時00分～16時00分(ブロック別に時間を指定する) 海津市文化センターにて行われる競技者受付の際にレースウェア、ヘルメット等競技用品の確認、バイクの車検を受けること。(公式メカニックは運営側で用意する) **注3・4**
 - 6) 主催者が指定したボディナンバーを指定個所に貼付する。これ以外のものをボディに貼付し、又は書き込むことを禁止する。
 - 7) スイムキャップは、支給されたものを着用すること。
 - 8) 前面にジッパーがあるユニフォームを使用する場合、縫い付けることなどの加工をして開かないようにすることにより、使用することを認める。

[4] 【記録計測】

- 1) ICタグ内蔵のアンクルバンドを装着して(左右いずれかの足首に装着)競技すること。各計測地点でこれを用いて計測・記録する。フィニッシュの着順判定は、競技者の胴体の一部(頭、首、肩、腕及び足は含まれない。)がフィニッシュライン上に達した瞬間とする。
- 2) アンクルバンドは、開始式前に配付し、総合フィニッシュ後に係員がすぐに回収する。
- 3) 途中棄権した競技者は近くのレースオフィシャル(審判員)にアンクルバンドを返却し、身に付けたまま計測地点へ近づかないよう注意すること。

[5] 【トランジション】

- 1) 競技に関係ない持ち物、邪魔になるような大きな物(保冷バック等)の持ち込みは禁止する。
- 2) バイクラックの位置は、バイクスタート側からスイムフィニッシュ側に向かって左右平行に配置し、バイクスタート側に向い左側を奇数、右側を偶数としスイムフィニッシュ側に向いレースナンバー順に昇順に配置する。ラックは1組設置し男子は8時00分より、女子は11時05分よりバイク等をセットできるものとする。
- 3) スイムで使用後のゴーグル・キャップ・ウェットスーツは、指定のボックスに入れること。バイクで使用後のヘルメットについてもボックスに入れること。ランシューズ、ランニングキャップ等、次の競技のための用具は指定のボックスに入れておかなくてもよい。
- 4) ボックスからの用具のはみだし、乗降車ライン、ストラップなど、トランジションの違反については、ペナルティボックスで15秒の競技停止を科す。

[6] 【スイム】

- 1) コースは、1周750mの長方形のコースを左回りに2周回する。1周回終了後、ポーンツーンに上り再度ダイブを行い2周回目にはいる。
- 2) ウェットスーツの着用基準は第59条(2)日本選手権エイジグループ部門を適用する。
水温が22度以上の場合ウェットスーツ着用禁止とする。
(気温が16度以下の場合は、水温を計測水温よりマイナス1度とすることがある。)
水温14度以下の場合着用義務となる。
川の状況により着用義務になることがある。(ウェットスーツは必ず持参すること。)
大会当日の7時00分に公式掲示板において発表する。 **注1**
- 3) ウェットスーツの着用が禁止される場合は、常に一番外側に第33条(1)、(3)、(4)ならびに国体ユニフォームルールに規定するユニフォームを着用して競技を行わなければならない。 **注2**
- 4) 前項に掲げるユニフォームの他にウェア(セカンドウェア)を着用する場合は、前項に掲げるユニフォームの下に着用するものとし、かつ、競技が終了するまで脱いではならない。第36条の2
- 5) 不正スタートなど、スイムの違反については、トランジションにて15秒の競技停止を科す。

[7] 【スイムスタート方法】

- 1) 各競技者はスターティングセレモニーの後、前回開催の千葉国体の成績順にコールされる。コールされた競技者より1から47の数字で表される70cm間隔のスタートポジションを選択し、その後方の待機ラインで待つ。なお、順位のない都道府県については競技説明会時に抽選を行う。**別表1, 2**
- 2) 競技者全員の紹介が終了した時点で“オン・ユアー・マーク”コールの後スターターによるエアホーンのスタート合図でダイブスタートする。

[8] 【スイム変更時の対応】

- 1) スイム実施可能な場合
競技環境の状況に応じて、距離の短縮・周回数変更を行う。
- 2) スイム実施不可能な場合
第一ラン10km、バイク40km、第二ラン5kmのデュアスロン競技に変更する。第一ランはランコース2.5kmを4周回としスタートラインは、ランコースの起点となる地点に設定する。

[9] 【バイク】

- 1) コースは一周10kmを右回りに4周回する（全般にフラット）。
- 2) バイクはドラフティング可とする。バイク及びハンドルバーなどは、JTU競技規則の規定に従うこと。**注3**
- 3) ホイールストップは2カ所（WS-1：0km付近、WS-2：バイクコース2.5km/7.5km付近）設置する。WS-1でのホイールの配置を希望する競技者は各自用意しレースナンバー、競技者名を明記の上レース前にWS-1へ預託する。WS-2はオフィシャルホイールのみを設置する。競技終了後WS-1にて預託した競技者に返却する。オフィシャルメカニックは、WS-1・WS-2に常駐する。
- 4) 周回遅れになった場合でも競技を継続することができる。この場合追い越した競技者に影響を与えないように注意しながら競技を続けなければならない。周回遅れとなった場合、先行周回競技者へのドラフティング走行は禁止する。**注5**
- 5) 乗車方法は、乗車ラインを越えた地面に片足が付いた後に乗車することが出来る。降車方法は、降車ラインの手前で片足が地面に付いていなければならない。
- 6) バイクのラップ表示は、先頭選手に対して残りの周回数を表示する。最終回では、鐘を鳴らす。
- 7) TT（エアロ）ヘルメットは使用を禁止する。
- 8) バイクにおける違反については、ペナルティボックスで15秒の競技停止を科す。

[10] 【ラン】

- 1) コースは一周回2.5kmを右回りに4周回する。
- 2) ランではキープレフト(左側走行)を基本とする。
- 3) 周回コースから総合フィニッシュへの分岐点では競技者個々に対しての誘導は行わない。各自で周回数を数え、間違えないよう注意すること。
- 4) 総合フィニッシュでは、サングラス及び帽子をとって通過することを推奨する。
- 5) ランのラップ表示は、先頭選手に対して残りの周回数を表示する。最終回では、鐘を鳴らす。

[11] 【エイドステーション】

- 1) エイドステーションでは、減速して、安全かつ確実に受け取ること。
- 2) ペットボトル等は回収箱に捨てるようにし、周辺に投げ捨てないこと。
- 3) エイドステーションは、ランにのみ設置する。1周回で3回給水出来るように設置する。

[12] 【ペナルティ】

- 1) ペナルティはタイムペナルティとし、1つの違反について15秒の競技停止を基本とする。**注7**
- 2) ストップ&ゴーでは、審判員の指示に従いその場で競技を停止、15秒経過後「ゴー」の合図で競技を再開できる。
- 3) ペナルティボックスでは、違反者のレースナンバーが張り出されるとともに、審判員の指示に従い、

ボックス内で競技を停止、15秒経過後「ゴー」の合図で競技を再開できる。

4) ペナルティボックスは、各周回の2.4km地点、ランコースとフィニッシュとの分岐点に設けられる。

[13]【その他】

- 1) 応援活動は、JTU競技規則第20条の規定に従って行うこと。応援用の旗・のぼり・ボード等は、他の競技者及び観戦者の邪魔にならない範囲で行うこと。また鳴り物等は、スタート合図、放送等協議運営の邪魔にならない範囲で使用すること。
- 2) コーチID
競技者1名に対しコーチIDを1枚発行する。アスリートラウンジの入場にのみに有効とする。トラクションエリア、フィニッシュエリア、ミックスゾーンには入れない。
- 3) 公式行事（競技説明会、開会式、閉会式、公式スイムトレーニング、スタートセレモニー、スタート前のアップ時）に参加する際は各都道府県の公式選手団ユニフォームを着用する。なお公式選手団ユニフォーム以外を着用する場合は、競技ウェア同様、所属する会社・クラブ学校名・スポンサー名などが表記されたウェアでの参加は禁止する。
- 4) ドーピングを行ってはならない。注6

JTU 競技ルール抜粋項目

注1 ■ウェットスーツ規定

着用基準は第59条(2)日本選手権エイジグループ部門を適用する。

(着用禁止水温 22度以上 着用義務水温 14度以下)

注2 ■レースウェア規定

ユニフォームはワンピース形状の使用が望ましい。セパレート形状のユニフォームは、トップとボトムの間隔が10cm以下のものであれば使用することができる。(33条(1))

ジッパーは背面に設けその長さは30cm以下とする。ユニフォームの前面にジッパーを設けてはならない。(33条(3))

ユニフォームは、競技中（スイムスタートからフィニッシュまでの間）常に肩にかかるよう着用していなければならない。(33条(4))

注3 ■エアロバー規定（第100条）

ドラフティングレースにおけるエアロバーは、次の各号に掲げる条件を満たさなければならない。

- (1) エアロバーの先端は、前輪ハブ軸より15cm以上、前方に出てはならない。
- (2) エアロバーの先端は、左右のブレーキレバーの最前部を結ぶ直線より前に出てはならない。
- (3) エアロバーの先端部分が前方に向いている場合は、先端を連結しなければならない。
- (4) エアロバーの先端部分にシフトレバーなど突起した部品を装着してはならない。

注4 ■ホイール規定（第79条）

ドラフティングレースにおいては、ディスクホイールの使用を禁止する。

スポーク数は12本以上とする。（追加 ITU 競技ルールから）

注5 ■ドラフティングレース規定

（周回遅れ）周回遅れとなっても競技続行が認められるときは、追い越した競技者に影響を与えないように注意しながら競技を続けることができる。この場合において、周回遅れとなった競技者が周回遅れとした競技者にドラフティングすることを禁止する。（第99条(2)）

注6 ■ドーピング規定（日本アンチドーピング機構HP参照）

<http://www.playtruejapan.org/>

注7 ■タイムペナルティ及びペナルティボックス規定

タイムペナルティは、違反によって競技上の大きなアドバンテージ若しくは順位の変動が得られる行為（可能性がある行為を含む。）、危険行為及び重大なマナー違反に対し、一つの違反ごとに、状況に応じ、いずれかが科せられる。（第110条）

別表1・スイムスタートドロワーイング順（男子）（ ）内は都道府県番号

1・千葉県 (12)	2・大阪府 (27)	3・愛知県 (23)	4・東京都 (15)	5・福岡県 (40)
6・京都府 (26)	7・福島県 (7)	8・神奈川県 (13)	9・茨城県 (8)	10・佐賀県 (41)
11・静岡県 (22)	12・滋賀県 (25)	13・鹿児島県 (46)	14・富山県 (17)	15・山形県 (6)
16・熊本県 (43)	17・埼玉県 (11)	18・宮城県 (4)	19・香川県 (37)	20・北海道 (1)
21・栃木県 (9)	22・長野県 (20)	23・三重県 (24)	24・秋田県 (5)	25・広島県 (34)
26・鳥取県 (31)	27・長崎県 (42)	28・高知県 (39)	29・島根県 (32)	30・愛媛県 (38)
31・岐阜県 (21)	32・宮崎県 (45)	33・兵庫県 (28)	34・岩手県 (3)	35・新潟県 (16)
36・青森県 (2)	37・和歌山県 (30)	38・沖縄県 (47)	39・石川県 (18)	40・群馬県 (10)
41・山梨県 (14)	42・大分県 (44)	43・岡山県 (33)	44・奈良県 (29)	45・山口県 (35)
46・徳島県 (36)	47・福井県 (19)			

別表2・スイムスタートドロワーイング順（女子）（ ）内は都道府県番号 予備は予備抽選対象

1・千葉県 (12)	2・福岡県 (40)	3・東京都 (15)	4・大阪府 (27)	5・愛媛県 (38)
6・神奈川県 (13)	7・長崎県 (42)	8・北海道 (1)	9・愛知県 (23)	10・静岡県 (22)
11・福島県 (7)	12・兵庫県 (28)	13・島根県 (32)	14・沖縄県 (47)	15・茨城県 (8)
16・鳥取県 (31)	17・宮城県 (4)	18・広島県 (34)	19・山口県 (35)	20・宮崎県 (45)
21・三重県 (24)	22・山形県 (6)	23・京都府 (26)	24・群馬県 (10)	25・山梨県 (14)
26・熊本県 (43)	27・埼玉県 (11)	28・徳島道 (36)	29・長野県 (20)	30・栃木県 (9)
31・新潟県 (16)	32・岩手県 (3)	33・大分県 (44)	34・石川県 (18)	35・富山県 (17)
36・岡山県 (33)	37・奈良県 (29)	38・滋賀県 (25)	39・秋田県 (5)	40・青森県 (2)
41・高知県 (39)	42・鹿児島県 (46)	43・佐賀県 (41)	44・香川県 (37)	抽選・福井県 (19)
抽選・岐阜県 (21)	抽選・和歌山県(30)			